

神奈川県立がんセンター 呼吸器内科 レジデント研修評価表 (年次)

レジデント	期	2009.12Ver.1
指導医		レジデントは太枠内を記入
研修期間	年 月 日～ 年 月 日	

がん専門医研修における呼吸器内科医としての下記の研修目標について、自己評価をするとともに、指導医による評価も受ける。

	A:修得した B:ほぼ修得した C:目標に達しない			指導医評価
	自己評価	実施または術者	見学または助手	
1. 以下の呼吸器科領域の臓器の病態生理を理解している。				
1) 気管・気管支	A・B・C	/		A・B・C
2) 肺	A・B・C			A・B・C
3) 胸膜	A・B・C			A・B・C
4) 縦隔	A・B・C			A・B・C
5) その他臓器	A・B・C			A・B・C
2. 以下の呼吸器科的疾患を理解し、適切な治療方針が決められる。				
1) 非小細胞肺癌	A・B・C・症例なし	/		A・B・C
2) 小細胞肺癌	A・B・C・症例なし			A・B・C
3) 悪性胸膜中皮腫	A・B・C・症例なし			A・B・C
4) 縦隔腫瘍	A・B・C・症例なし			A・B・C
5) 神経性腫瘍	A・B・C・症例なし			A・B・C
6) 縦隔胚細胞腫	A・B・C・症例なし			A・B・C
7) 良性肺腫瘍	A・B・C・症例なし			A・B・C
8) 腫瘍以外の良性肺疾患	A・B・C・症例なし			A・B・C
3. 以下の呼吸器科医として必要な患者管理・処置ができる。				
1) 気管支鏡検査患者管理	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
2) 経皮的肺生検患者管理	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
3) 胸腔穿刺	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
4) 心嚢穿刺	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
5) 化学療法患者管理	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
6) IVH穿刺管理	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
7) がん性疼痛管理	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
8) 麻薬管理	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
9) Informed Consent	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
10) 緩和治療	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
11) せん妄状態管理	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
12) その他	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
4. 以下の呼吸器悪性腫瘍の治療手技を修得している。				
1) 非小細胞肺癌化学療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
2) 非小細胞肺癌化学放射線療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
3) 小細胞肺癌化学療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
4) 小細胞肺癌化学放射線療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
5) 縦隔悪性腫瘍化学療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
6) 胸膜腫瘍化学療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
7) がん性胸水胸膜癒着療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
8) がん性心のう水ドレナージ	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
9) 再発肺癌に対する治療	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
10) 肺癌脳転移への対処	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
11) 肺癌骨転移への対処	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
12) がん性緊急症への対処	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
13) 傍腫瘍症候群への対処	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
14) その他	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
5. 学会活動を行っている。				
		演者または著者	共同演者 または共著者	
1) 学会発表	A・B・C	件	件	A・B・C
2) 論文発表	A・B・C	件	件	A・B・C

レジデント自由記載欄：(欄不足の場合は裏面へ)

評価： 年 月 日 判定： 優 ・ 良 ・ 可 ・ 不可

指導医記載欄：